学生の面白いアイデアを、企業と一緒に実現し、社会を変えよう！

顧客価値共創プログラム

Customer Value Co-Creation program

企業のリアルな
事業成長課題に対して
企画を考え提案する
週１×８回＝２ヶ月の
共創プログラム

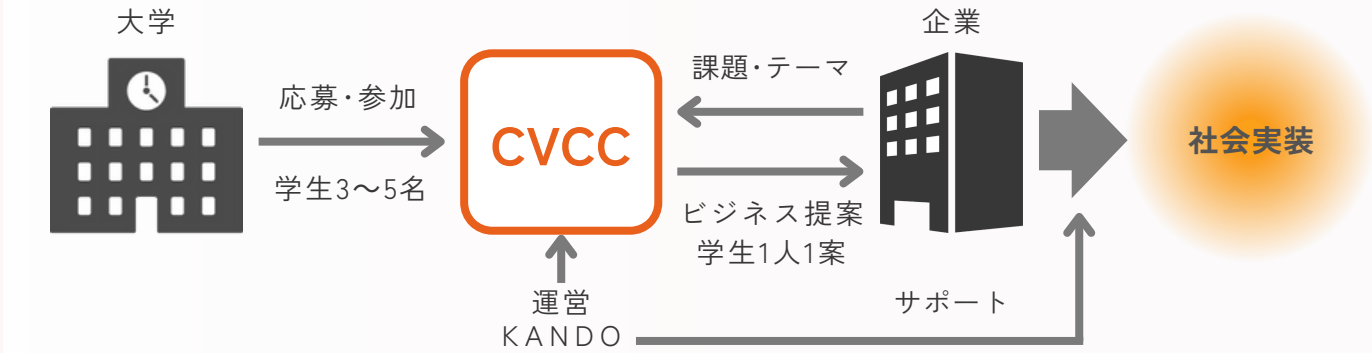
第1期
2025年5月開講

参加者募集

01
自分のアイデア・強みを活かして、ビジネスを作る経験ができる

02
実務経験豊富な講師とのディスカッションでアウトプットを磨ける

03
企業に採用されれば社会実装や出資の可能性あり



プログラムシラバス

1	プログラムオリエン／企業オリエン	対面
2	方針の「4つW」を考える	Zoom
3	方針の解像度を上げる	
4	企画の「2W2H」を考える	
5	企画の解像度を上げる	
6	「ビジネス」と「収支」の構造を考える	
7	相手をハッとさせる「伝え方」を考える	
8	企業へのプレゼン／担当者からの講評	対面

講師

KANDO株式会社　代表取締役
高橋　輝行

東京大学大学院理学系研究科卒／デジタルハリウッド大学院DCM修士。2000年、博報堂入社。営業職としてベネッセコーポレーション、アスキー、ゲーム会社等の 広告ブランディングを推進。
その後、SBIグループの知財コンサルティング会社を経て、2007年に経営共創基盤(IGPI)に参画。チケットぴあに出向し経営再建を主導。
2010年KANDO株式会社を創業、中堅・中小企業を中心に100社以上で新商品／新事業開発プロジェクトを推進。桜美林大学・大学院非常勤講師（プロジェクトマネジメント専門）

共催：一般社団法人関西イノベーションセンター／KANDO株式会社
協力：立命館大学　社会共創推進本部

起業・企業との社会実装例

起業：ネイル整形サロン「VISOK」

大阪公立大学CVCC第１期生
大阪公立大学大学院　看護学研究科
博士前期課程２年(参加時１年)
蔭西訓子さん

私は大学院に入る前、足専門の看護師の仕事をしていて、自分の看護師の技術を活かしたビジネスをしたいと思って参加しました。CVCCでは、数字を元に儲かるビジネスを考えることの難しさを痛感しましたが、自分の強みを活かして、顧客や提供価値を突き詰めることの面白さを実感しました。ビジネスの本当のコアなところのエンドユーザー視点を学ぶことができて、それを原点として今も毎日思い出しながら事業をやっています。

＜アドバイス＞
私と同じように、自分の強みを活かしてビジネスをしたい人は絶対に参加された方がいいと思います。売上や儲けを考えるよりも先に、顧客の感動体験を突き詰めることがビジネスの原点、働くことの本質だと気付けます。そこに早いうちに気付けるかどうかで、その先自身の強みの磨き方が大きく変わるような気がします。

https://visok.net/

「歩きやすい足、見せたくなる足にする自爪ケア」をコンセプトに、KANDOが出資し2024年4月に「VISOK(美足)株式会社」を設立。蔭西さんが代表取締役に就任し、第1号店となる大阪天王寺店をオープン。初月から単月黒字を実現、全国展開を目指す。

社会実装：井筒八ツ橋本舗･三和紙業との新商品開発

大阪公立大学CVCC第２期生
大阪芸術大学　デザイン学科
グラフィックデザインコース４年 (参加時3年)
金澤夏那さん

もともとパッケージデザインに興味があって、募集テーマと合致したので応募しました。他の人との意見交換や、産学協働で学べる機会が貴重だと感じたことも大きな理由です。CVCCでは、週一回のミーティングでプレゼンを行い、実際の顧客をイメージしながら、お菓子やパッケージデザインを具体化するのが初めての経験で苦労しましたが、自分の大きな成長に繋がりました。

＜アドバイス＞
恐れずに挑戦してみることが大事だと思います。私はお菓子が好きで、その魅力を人々に届けたいという想いがモチベーションになりました。好きなことと得意なことが重なると力が発揮しやすく、結果にもつながりやすいと思います。
いろんな人が参加して、新しい価値がもっと世の中に生まれていったらいいなって思います。

https://www.instagram.com/yatsuken_/?hl=ja

伝統的な和菓子八ッ橋に遊び心を加えた新しい商品ブランドを提案した金澤さんと「井筒八ツ橋本舗」、「三和紙業」の若手社員が中心となって、新商品開発プロジェクト[Ya＋suken(ヤツケン)」を立ち上げ、2024年5月から隔週で新商品を試作試売。

出資や企業との社会実装が決まれば、引き続き講師が伴走支援！

Presented by
MUIC Kansai

大阪・関西万博の価値を未来につなぐ

0 → 1 プロジェクト

ゼロワン

大阪・関西万博をヒントに、
自分のやりたいことをみつける。
社会実装につなげる。

内容

本プロジェクトでは、大阪・関西万博の出展をヒントに、健康、食、教育、文化等の分野で、あなたが「やりたい！」と思うことをみつけて、アイデアをカタチにします。人を元気に、輝かせるサービス・プロダクトを思い切って考えて、社会実装を目指しましょう！

対象

万博に興味がある方、自分のやりたいことを見つけてカタチにしたい方、将来起業や社会実装に興味・熱意がある方

募集人数

3〜5名　※募集人数を越えた場合は選考

日程

第1回「オリエンテーション＆担当者プレゼンテーション」は対面で、他大学との合同開催になります。
【日時】5/2(金) 18:30〜20:00
【場所】MUIC Kansai (御堂筋線「淀屋橋」駅)
万博チケットをお渡しします。第2回までに現地視察を行い、所定の課題に取り組んでいただきます。

毎週水曜 18:30〜20:00

	日程	形式	
第2回	**5/14**	Zoom	方針の「4つのW」(Who, What, Why, wish) を考える
第3回	**5/21**	Zoom	議論を通じて方針の「解像度」を上げる
第4回	**5/28**	Zoom	企画の「2W2H」(4W＋Where, When, How, How much) を考える
第5回	**6/04**	Zoom	議論を通じて企画の「解像度」を上げる
第6回	**6/11**	Zoom	企画の「ビジネス構造」と「収支構造」をアウトプットする
第7回	**6/18**	Zoom	相手をハッとさせる「伝え方」を突き詰める
第8回	**6/25**	**対面※**	企業へのプレゼンテーション＆担当者からの講評

※第8回 対面開催は、立命館大学　大阪いばらきキャンパスを予定

プロジェクト担当者より一言

MUIC Kansaiは三菱UFJ銀行が設立した「観光・インバウンド」をテーマとしたオープンイノベーション拠点です。

今春よりスケールアップし、テーマを「環境・健康・食・エンタメ」などにも広げ、様々な大企業やスタートアップ企業とともに、社会課題解決に向けた新規事業の創出ならびに社会実装の取り組みを推進しています。今回KANDO様とともに「万博レガシーの社会実装」をテーマに新たな顧客価値共創プログラムを実施することになりました。

4月からいよいよ大阪・関西万博が開幕します。55年ぶりに大阪開催される貴重な機会に、万博と真剣に向き合い、自分たちの未来にどのように活かせるか考えてみませんか？学生ならではの柔軟な発想や事業アイデアをもとに、一緒に社会実装まで目指すことを楽しみにしています。

MUIC Kansaiマネージャー 渡邊千理

会社HP

http://www.muic-kansai.jp/

申込方法

面白い
アイデアを考えたい
クリエイティブな学生歓迎！

Step1
申込みフォームにアクセス
https://forms.office.com/r/YQK50bmRmP

Step2
必要事項を入力

Step3
4月25日(金)までにメールで通知

定員を超えた場合は、下記「選考基準」により選考。キャンセルは原則不可です。

申込・参加の際の注意事項

申込期限

2025年
4月22日(火)
12:00

選考基準

1) 本プログラムで実現したいこと
2) その理由（想い、原体験）
3) 発揮できる強み
※企画力、デザイン力等

最終アウトプット

企画書の提出

大学からのメッセージ

立命館大学　副学長／社会共創推進本部　本部長
三宅　雅人

社会が求める大学の役割・機能が一段と多様化していく中、立命館大学では2024年4月に「社会共創推進本部」を立ち上げ、大学自体を潜在的な「社会課題発見・解決の場」に位置づけ、学生・研究者の多様な挑戦を様々な面で支援しています。

みなさんが実社会で実現・実装したいアイデアやスキルについて、ぜひ大学の枠を超えたこのプログラムを通じてブラッシュアップしてきて欲しいと思っています。「大阪・関西万博」への参加も然り、普段のキャンパスライフでは交わることがない人たちとの出会いや会話によって、あなたの創造性がより拡張され、社会に変革をもたらすきっかけになることを期待しています。

さあ、どこまでも自分らしく、
挑戦を楽しもう。
TRY FIELD

＜本プログラムに関するお問合せ＞
立命館大学　社会共創推進本部（事務局：社会共創推進課）
［Web］https://www.ritsumei.ac.jp/tryfield/
［Mail］ricci@st.ritsumei.ac.jp